

環境の都ニュース

2019.4.1 NO.99

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

“環境の都”長岡京の実現に向けて

～「計画」から「実行」へ～



平成14年1月より発行されている「環境の都ニュース」も99号となり、また平成最後のニュースの巻頭を飾らせていただけることを大変光栄に思います。皆様方には、環境基本計画の策定に携わっていただくとともに今■まで長年にわたり“環境の都”長岡京の実現に向けて、幅広い視点で活動を続けていただき感謝申し上げます。

さて、昨夏は猛暑や大型台風、豪雨などにより本市でも西山での風倒木被害など大きな被害が出ております。世界に■を向けましても今年2月に北米やヨー■ッパなどがマイナス50度となる一方、南半球では最高気温が47.3度になるなど異常気象が起こっています。この原■と考えられているのが「地球温暖化」であり、本市では去る4月に■民運動である「COOL CHOICE宣言」を行い、更なる地球温暖化対策を推進しています。

そして本年1月には皆さまの信任を得て市長として2期■がスタートしました。環境の分野では放置竹林整備の推進及びエネルギーの地産地消を■指し、竹林資源による再生可能エネルギーの利活用について検討していきます。全■的に事例が少ないものではありませんが、農家・竹林整備■体、燃料生産者、供給先の全てにおいて経済性や採算性、また継続性などの観点から引き続き、検証と具休化を進めてまいりたいと思います。



他にも庁舎建替えや環境基本計画の見直し、ごみの減量に向けた指定ごみ袋制の導入などを予定しておりますが、このような機会をチャンスと捉え、「計画」から「実行」へ。そして「考える」から「行動」へ。

市民の皆さまとともに、“環境の都”長岡京の実現に向けて力強く前進してまいりたいと思います。



長岡京市長 中小路 健吾

環境の都づくり会議主催

「たけのこ蹴り隊」体験者募集

5月4日(土、祭日みどりの日)

9時30分～14時

集合場所 粟生光明寺入口の駐車場
集合時間 9時15分
参加者 小学生以上の親子(叔父さん・叔母さんもOK)10組程度
また单身でもOKです。先着順受付。
参加費 大人 500円 子供 300円
(追加子供1人100円・大人200円)
申込先 江川 075-957-6169 E-mail:egawam@kyoto.zaq.ne.jp
渡辺 090-7755-9238

西山の放置竹林に入って大きく伸びた筍を蹴って(手で折る)竹の拡大を防止するボランティア体験です。蹴った筍は焼筍や豚汁に入れて賞味してもらいます。また筍のお土産や竹工作や的当て等の遊びもあり1日、楽しく過ごせるイベントです。ふるって参加して下さい



私たちPJTプロジェクト（15名）は毎月曜日を基本に、月4～5回、主に市内9ヶ所の放置竹林（延べ6,500坪）の整備とその維持管理を、気の置けない仲間と楽しみながら続けています。昨年エポックは何と言っても過去に例のない大型台風の被害（写真）です。数百本の竹が倒れ、竹林内の大きな樹木も被害を蒙り、9月から2月まで半年はその後片付けに追われました。やっとのことで何とか一段落はしたものの、今春の竹の子への影響が心配されます。一方で、近年は活動の輪を広げ、他のプロジェクトメンバーや地域のボランティア団体とも連携し、竹林を利用した子供たちや地域の皆さんを対象にした各種環境行事の開催や生涯学習活動の支援、向ヶ丘支援学校との交流など幅広い活動を展開しています。これらの活動により、市民の皆さんとの接点が広がり、若い女性や元気なご夫婦などの新しい会員が仲間に加わって頂けるようになりました。今後も日々の作業と共に、組織の若返りと活動の維持・発展に従来以上に力を入れたいと思っています。そのため、「竹林整備体験会」を定例開催（6月から毎月第一日曜）する事と致しました。是非、気軽にご参加頂き、竹林整備の楽しさも味わってみて下さい。一同、お待ちしております。春の竹林は菊も皆さんを待っていますよ。



使用済みの天ぷら油はどのように処理していますか

長岡京市では天ぷらやフライなどで使い終えた天ぷら油（廃食用油）は、所定の回収拠点（写真は拠点の一つです）に集めたのち、（有）長岡美装社様がボランティアで回収して下さっています。京都市内の施設で変換処理した後、ディーゼル車の燃料（バイオディーゼル燃料）として、軽油の代わりに使われています。



バイオディーゼル燃料を使った（有）長岡美装社の回収車です。

このようにリサイクルして使用することで、軽油を使うことによる二酸化炭素（CO2）の発生を少なくし、地球温暖化を軽減する効果があります。バイオディーゼル燃料は長岡京市ではごみの回収車（写真参照）等に、また京都市では一部の市バスに使われています。

長岡京市の一般家庭から、年間約2800Lの使用済み天ぷら油が回収されています。あなたも環境にやさしい生活をしてみませんか。近くに回収拠点が無い方はご連絡下さい。

（連絡先／原・電話 075-953-1696）



回収拠点にはこのような旗が立てられています。

冬の竹林で炭焼き体験

冬の一、長岡第十小の子供達13名が光明寺北隣の竹林での「竹炭焼き体験」に参加してくれました。冬の竹林遊びは2回と言う子供たちも多く、なかなかの人気コース。朝は大きな焚火で暖を取りながら環境紙芝居。地球温暖化に竹も一役買っていること、高齢化と生活様式の変化で山に人の手が入らず、放置竹林も増加することで里山が荒れ、西山の自然が壊れていることなどについて勉強しました。街中では体験できない赤々とした焚火と竹の破裂音の中での勉強はとても新鮮でした。

竹炭焼きでは材料の竹を窯に入れ、マッチで火を付けました。雨で風を送りますが、燃え出すまでの煙にむせ、目が痛い逃げ出す子供たち。消し炭の竹藪への散布にも挑戦し、炭が土壌改良と菊の成長促進に役立つことも勉強しました。

竹藪整備体験としてノコギリで竹を切り、その竹で一輪挿しなども作りました。竹の弓矢遊びもみんなで楽しみました。遊びの合間、炭火で焼いたお餅は何よりの楽しみ、屋外でワイワイ言いながらみんなで食べるお餅のなんと美味しい事が。ここでしか味わえないこの貴重な経験をこれからも大事にして買いたいものです。



里山再生 PJT

春の西山は花や虫でいーっぱい！

PJTリーダー 加藤克巳

平成31年度の西山ファミリー環境探検隊が始まります。

- 時 平成31年4月20日(土) 9時30分 西代里山公園管理棟前集合
 内容 自然観察のあと、西山キャンプ場でカレーの昼食です。焼き物もできるよ！
 自然観察指導員京都連綿会の皆さんに案内していただきます。
 申し込み先 西山森林整備推進協議会(市役所環境政策室内)
 電話 955-9542 FAX 951-5410



詳細は市民広報4月1日号をご覧ください。
 (写真は平成30年春の郵)

花を咲かそう PJT

和気あいあいと恒例の正月飾りづくり

PJTサブリーダー 奥西弘武



昨年の暮れ、放置竹林の竹材を使った「正月飾りづくり」とその頒布会を公民館の一室を借りて実施しました。今度も子どもプロジェクトを中心とする緑のサポーターの他、生活学校、生活会議の皆さんと共同開催しました。この行事も10年になり、すっかり環境の都づくり会議の年末恒例行事に定着しています。

今度も、傾斜のきつい竹林で、直径15cmを越える竹材30本程の切出しに始まり、飾付けに使う松の枝、熊笹、裏白、花卉など70基分の材料を延べ3日、40人がかりで調達しました。その後で、竹に荒縄を巻き付け、葉牡丹、土などの材料をセットにして準備完了。

作業は当ボランティアメンバーで手分けして行いますが、みんな長年の経験で役割分担が出来ており、手際の良さはさすがです。真冬の寒い時期の作業ですが、正月飾りを楽しみにしている皆さんの喜ぶ顔を思い描きながら、みんな和気あいあいと進める楽しい作業でもあります。頒布会当りも年末の冷たい雨模様でしたが、わいわい賑やかに思い思いに飾り付け作業を楽しみ、65基を参加者に持ち帰って頂きました。

また、5基は市内の公共施設に寄贈しました。

当プロジェクトは市の緑のサポーターに登録して地域の緑化活動に取り組んでいます。昨年は協会からの10年表彰を受けたり、第2回蕎麦打ちの会を開催したり、体育館の花壇の土壌改良を行って秋の植え付けをするなど、よい一年となりました。



ここCOライブ PJT

SDGsへの思い

エスディージーズ

PJTリーダー 西村出男

私がSDGsという言葉を知ったのは3年前です。仕事柄ISO14001の事務局も担当しているもので、元々は従業員の環境意識を高めるためにSDGsの活用を始めました。だけど、その時は単なる表面上でしかなく、企業環境活動のポーズでしかありませんでした。

しかし、何度も何度も17のターゲットを読み返し理解を深めていくにつれ、漸くこのターゲットを設定されたその思いが伝わってきたと感じています。

大阪万博の開催が決定し、万博のアピールをする中でもSDGsが謳われています。ただ、まだまだ知名度が低く、SDGsという言葉さえ聞いたことがないという人が多いと思います。

私たち「環境」に携わる者として、SDGsをもっと世に広め、たった一つの目標でもいいから、ほんの少しの活動でもいいから、多くの人々が意識し行動することで、今よりも平穏で明るい未来を創っていけると感じています。(終 彰)

COOL CHOICE
 できるだけ1回で受け取りませんか
 キャンペーン

COOL CHOICE

42万円
 1.8%



店内通路も広くゆっくりお買い物ができる
 地域密着型のお店。 **LIBERTY 長岡店**



- 〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目1-23 TEL: 075-953-2501
- 営業時間 9:00~21:00 ●年中無休(元旦のみ) FAX: 075-951-0305

<http://liberty-nagaoka.com>

みずみずしさこそ和菓子の生命

みずは北川

〒617-0815
 京都府長岡京市久いす台1-3
 Tel: 075-964-0400
 Fax: 075-964-0402



みずは北川公式
LINE@ 会員募集中
 お得なキャンペーン情報や新商品・季節限定商品などの最新情報をお届けします。



京都府長岡京市
みずは北川



竹林で百人一首を楽しもう！

1月19日(土) 光明寺北方にある河合竹林で開催されました。

中央公民館が主催する市民企画講座の一つとして本年初めて開催した行事で、当会（環境の都づくり会議）が企画・運営を担当しました。市民の皆様は竹林を身近に感じてもらい、放置竹林や環境問題への関心を高めてもらおうと企画したものです。

使用した百人一首は、100枚のカードを20枚ずつ5色に色分けしたもので（五色百人一首）で、2人が向かい合って20枚のカードを取り合い、次の色のカードには対戦相手も入れ替わって変化があり、短時間にゲームが決着する楽しい遊びです。ゲーム終了後の竹の遊具や豚汁など、寒さを吹っ飛ばして楽しんでいただけたようでした。



新春クロスワードパズルの答え

1	フ	2	ツ	3	ソ	4	リ	5	サイ	6	ク	7	ル
	7	キ	8	ヨ	9	ウ	10	イ	11	ク		12	モ
13	ア	14	コ	15	ヤ	16	ガ	17	18	19	20	21	22
	13	ケ	14	ウ	15	エ	16	ネ	17	18	19	20	21
23	チ	24	ヘ	25	イ	26	ス	27	28	29	30	31	32
	23	ヒ	24	ン	25	コ	26	ン	27	28	29	30	31
33		34	ド	35	モ	36	ス	37	38	39	40	41	42
	33	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
43	コ	44	ウ	45	ス	46	2	47	48	49	50	51	52
	43	コ	44	ウ	45	ス	46	2	47	48	49	50	51
53	ス	54	ミ	55	ツ	56	ツ	57	58	59	60	61	62
	53	ス	54	ミ	55	ツ	56	ツ	57	58	59	60	61

解答/じぞくかのうせい：持続可能性 (Sustainable)

2019年 環境年間行事日程 直近版(4月～6月)

	共通、広報	皇山再生・西山F環境保樹隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ!地球温暖化防止等	こここCOライブ、等
4	環都ニュース発行(4/1) 環都月例会議(4/9)	森林ボランティア(4/7) 西山F探検隊-1(4/20) 森林ボランティア(4/21)	すくすく遊園地(4/13,20,27)	竹林整備活動(毎週月曜) ゆりかご保育園遊園地(4/10) 古市子供会遊園地(4/14)	緑のサポーター(随時) 花にしき遊園地(4/12)	エコ Me(4/16)	
5	環都2019年度総会・親睦会(5/11)	森林ボランティア(5/5) 森林ボランティア(5/19)		竹林整備活動(毎週月曜) 市民向けのお祭り(5/4)	体育館・公民館花壇替え 緑のサポーター(随時)	エコ Me(5/) すくすく教室十小(5/21)	
6	環都月例会議(6/11) 環境月間ホテル鑑賞の夕べ(6/)	森林ボランティア(6/2) 森林ボランティア(6/16)	すくすく憩いの森(6/8) すくすく川遊び(6/22)	竹林整備活動(毎週月曜) 竹林整備体験会(6/2)		ゆりかご保育園環境行事(6/5) エコ Me(6/18)	市主催環境講演会(6/)

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは江川まで。Tel. 075-957-6169
E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容と写真などがあります。
「長岡京市環境の都づくり会議」で検索してください。

今年は花粉の飛散が激しかったようですが、皆さん大丈夫だったでしょうか？花粉飛散の少ない「少花粉スギ」への取り組みもされていますが、植え替えがなかなか進んでいないようです。本号が平成時代の最後の発行となりますが、年号が変わってもご愛読よろしくお願ひします！

編集後記